

小説

『鎌倉駅徒歩8分、空室あり』

越智 月子 著

男手一つで育ててくれた父が遺した鎌倉のカフェを、シェアハウス「おうちカフェ」としてスタートさせることになった香良。離婚後に押しかけてきた親友の三樹子や、愛犬ツンと片時も離れない神経質な里子など、ちょっと訳ありな住人たちの日常を描く連作短編集6話。

趣味 実用

『ダイアナ妃ルックブック』

エロイーズ・モラン 著

2022年に没後25年を迎えたダイアナ元妃。彼女は、実は声に出して伝えられなかったメッセージを、ファッションで表現していたという。230点以上に及ぶ膨大なファッションスナップを通して、なぜそれらを身に纏ったのかを、これまでにでない視点で読み解く。

小説

『骨灰』

冲方 丁 著

「いるだけで病気になる」「作業員全員入院」「人骨が出た穴」……自社の現場の作業員のものと思われるツイッターの真偽を確かめるため調査に向かう松永光弘。人が骨まで灰になる臭いを感じながら行き着いた、深い地下空間に掘られた大きな穴の底で、鎖に繋がれた男を発見して。

趣味 実用

『「国の借金は問題ない」って本当ですか?』

森永 康平 著

わかっているようでわかっていない財政破綻や国債発行、税金・金利・ハイパーインフレなど経済の新常識の疑問を、経済アナリストの森永先生と大学生との会話を通して解決する。日本経済の行く末をMMT(=現代貨幣理論)の観点で説明し、お金とMMTにまつわるQ&A集も収録する。

小説

『植物少女』

朝比奈 秋 著

出産時に脳出血を発症し、植物人間となつてしまった母。その時に生まれた美桜は、子どもの頃も大人になっても変わらず、母に会いに病院に通う。成長するにつれ美桜の中にあつた、母が「生身の人形」であるという概念は大きく変化し始めて……。『生』について深く問う、静粛たる衝撃作。

趣味 実用

『「よくむせる」「せき込む」人の
お助けBOOK』

大谷 義夫 著

「むせる」「せき込む」の頻度が増えてきたら、それはのどの老化のサインかもしれない。のどの老化で一番怖い誤嚥性肺炎を予防するための、のどや呼吸のトレーニング方法や、普段の生活で実践できるポイントなどを紹介している。

小説

『家康の海』

植松 三十里 著

天下分け目の決戦を制した徳川家康が、後半生で注力したものが、諸外国との外交であった。家康の外交戦略を支えたイギリス人航海士のウィリアム・アダムスと、豊臣秀吉の朝鮮出兵で天涯孤独の身となった朝鮮貴族の娘・おたあの視点が捉えた、知られざる家康の姿を描く感動の歴史ロマン。

趣味 実用

『毎日おにぎり365日』

日々おにぎり ゆこ 著

料理が苦手でも、時間がなくても作れる、愛情たっぷりな365日分のおにぎりレシピたち。定番の具材を使って作るアレンジメニューから、「柿の種とクリチのゆかりおにぎり」や「ポテサラおにぎり」などの変わり種まで、色とりどりのおにぎりを飽きることなく楽しめる1冊。

小説

『グッゲンハイムの謎』

シヴォーン・ダウド 原案

12歳のテッドが夏休みに訪れた叔母の職場・NYのグッゲンハイム美術館で、火事騒ぎが起き、カンディンスキーの名画<黒い正方形のなかに>が盗まれてしまう。容疑者として逮捕されてしまったグロリアおばさんの無実を証明するため、姉のカット、従兄弟のサリムと共に謎に挑む――!

趣味 実用

『臨書の基本』

山本 翔麗 監修

臨書とは、優れた中国の古典作品をお手本にして倣うことで、自分の書の幅を広げ、基礎を固める方法のひとつ。臨書初心者にも挑戦しやすい、楷書・行書・草書の名筆をピックアップし、それぞれの書体の特徴や書き方のポイントを解説すると共に、臨書の基礎知識や実際の古典も掲載する。